

○ホテル周辺北上川・材木町・木伏緑地をめぐる 「1時間半コース (途中カフェ等でのご滞在含む) ※目安」

盛岡駅 ^{徒歩約10分} ・ ・ ・ ^{徒歩約1分} 宮沢賢治像 ・ ・ ・ ^{徒歩約3分} ★光原社 ・ ・ ・ ^{徒歩約2分} いーはとーぶアベニュー材木町 ・ ・ ・ ^{徒歩約10分} 夕顔瀬橋 ・ ・ ・

★北上川遊歩道 (開運橋花壇) ^{徒歩約1分} ・ ・ ・ ★開運橋 ^{徒歩約1分} ・ ・ ・ ★木伏緑地 ^{徒歩約5分} ・ ・ ・ 盛岡駅

旭橋を渡り信号を左折すると材木町の通りです。通りには賢治の世界を感じられる6つのモニュメントがあります。そのまま進むと左手に「光原社」があります。ここは宮沢賢治の同級生が始めた店。賢治の初の本「注文の多い料理店」の出版をした。店名は賢治が命名したそうです。

材木町の通りを過ぎ左に折れると夕顔瀬橋があります。夕顔瀬橋の石灯籠裏手の階段より土手を下り、北上川の流れる音と風を感じながら開運橋まで進みます。途中旭橋を過ぎた辺りからボランティアの手で季節ごとに植え替えられる延長約220mの「開運橋花壇」があります。4月上旬より植え始められ、秋まで四季折々の花が楽しめます。

土手を上り、白いアーチ状の橋、別名「二度泣き橋」とも呼ばれる開運橋を渡ります。転勤で盛岡に来た人が「遠くまで来てしまった」と泣きながら渡り、住んでみると盛岡の人の温かさや優しさに触れ、去る時は「離れたくない」と泣きながら渡る、というのが由来と言われています。

橋を渡りすぐ右手に広がるのが木伏緑地です。緑地の中には8店舗のカフェや飲食店が並びます。また5月からは日にち限定で北上川で運行される木造船「もりおか丸」の出港地がございます。木伏緑地から盛岡駅まで5分程度です。

※おすすめカフェ・・・光原社、東北 DRIPPERS コーヒースタンド

○石川啄木の足跡をたどる 「2時間半コース ※目安」

DD1 盛岡駅⑤ = = = でんでんむし右 = = = DD4 啄木新婚の家口 ^{徒歩約2分} ・ ・ ・ ★啄木新婚の家 ^{徒歩約2分} ・ ・ ・ 啄木新婚の家口

= = = でんでんむし右 = = = DD14 盛岡バスセンター ^{徒歩約3分} ・ ・ ・ ★啄木・賢治青春館 ^{徒歩約7分} ・ ・ ・ ★盛岡城址公園 ^{徒歩約7分} ・ ・ ・

DD16 盛岡城跡公園 = = = でんでんむし右 = = = DD1 盛岡駅 ^{バス6分}

でんでんむし右回りで停留所「啄木新婚の家口」で下車するとすぐに石川啄木新婚の家が見えます。文字通り啄木と妻節子が新婚時代に数週間暮らした家で、新婚当時の間取りが残されており二人の暮らしがそのまま感じることができます。啄木は27歳、節子は28歳でこの世を去ります。新婚の家ではそのあまりにも短い二人の人生の新婚の暮らしに思いを馳せてみて下さい。

引き続きでんでんむしで「盛岡バスセンター」で下車して中津川沿いに歩くと「啄木・賢治青春館」があります。元は九十九銀行の本店であり国の重要文化財の建物では旧制盛岡中学（現在の盛岡一高）で学んだ石川啄木と宮沢賢治のつながりを知ることができます。

青春館を後に、中の橋を渡ると盛岡城（不来方城）に到着です。不来方城での有名な俳句の歌碑が二の丸に立っています。盛岡中学時代啄木はよく教室を抜け出して城の草むらで寝ころんでいたそうで、その追体験ができる場所です。そして、余談ですが盛岡駅の駅名標「もりおか」は啄木の字です。帰りは城の西側の吹上坂を下り「盛岡城跡公園」からでんでんむしに乗りしてください。

※おすすめカフェ・・・Waltz、六月の鹿、喫茶あこがれ、モンタン

おすすめカフェのご案内 ☺

※定休日・営業時間をご確認下さい

◎お部屋備え付けの

「自家焙煎珈琲店マップ」

「飲食店マップ」もご参考にどうぞ

- | | | | |
|---------|-----------------|-----------------------|-------------------|
| ・モンタン | 盛岡市内丸 6-2 | ・番屋カフェ | 紺屋町番屋内 |
| ・六月の鹿 | 盛岡市内丸 5-5 | ・ふかくさ | 盛岡市紺屋町 1-2 |
| ・Waltz | 盛岡市中ノ橋通り 1-3-21 | ・れすとらん Café もえぎ | 盛岡市中ノ橋通 1-1-10 5階 |
| ・喫茶あこがれ | 啄木・賢治青春館内 | ・NagasawaCOFFEE | 盛岡市上田 1-11-23 |
| ・鼓太楼山荘 | 盛岡市上ノ橋町 1-2 | ・光原社可否館 | 盛岡市材木町 2-18 |
| ・クラムボン | 盛岡市紺屋町 5-33 | ・東北 DRIPPERS コーヒースタンド | 盛岡市盛岡駅前通 11-11 |

もりおか花名所への交通案内 (でんでんむし・上田線以外)

- ④ 龍谷寺 …… JR バス東北 早坂高原線 岩泉・龍泉洞行 (乗り場①) 北山下車徒歩1分 (片道190円)
盛岡都心循環バス「でんでんむし」右回り (乗り場⑤) 本町通一丁目下車徒歩5分
- ⑥ 高松の池 …… 岩手県交通 駅上田線 (乗り場⑩) 高松の池口下車徒歩3分 (片道250円)
- ⑦ 米内浄水場 …… JR 山田線 上米内駅下車徒歩2分 (片道210円)
- ⑧ 山岸のカキツバタ群落 …… 岩手県交通 駅桜台団地線 (乗り場⑩) 陸中大平下車徒歩5分 (片道440円)

※路線バス・JRとも、運行本数の少ない路線がございますので、お出かけの際は事前に時刻表を確認の上お出かけください。

○歴史的建造物と中津川「3時間コース ※目安」

DD1 盛岡駅⑮ = = = 《バス13分 車でんむし右》 = = = DD10 上の橋・ ・ ・ ★上の橋青銅擬宝珠・ ・ ・ ★紺屋町番屋・ ・ ・
★ござ九・森久商店・ ・ ・ ★旧盛岡貯蓄銀行・ ・ ・ ★岩手銀行赤レンガ館・ ・ ・ ★啄木・賢治青春館・ ・ ・
★旧石井県令邸・ ・ ・ DD17 菜園川徳前 = = = 《バス5分 車でんむし右》 = = = DD1 盛岡駅

でんでんむし右回りで停留所「上の橋」で下車するとすぐに中津川にかかる上ノ橋がございます。中ノ橋の欄干にとともにつけられた、青銅鑄物擬宝珠 36 個のうち、上ノ橋の 18 個が国指定重要文化財に指定されています。青銅製で慶長 14 年(1609) の銘が刻まれるものが 8 個、慶長 16 年(1611) の銘が刻まれるものが 10 個あります。これほど多く残っているのは全国的にも珍しいです。夏にはアユが躍り、秋にはサケが産卵の為に遡上する姿が見られます。

上ノ橋から紺屋町、中ノ橋通にかけては、盛岡の歴史的建造物が並びます。

中津川沿いまたは紺屋町の通りを進むと紺屋町番屋が見えてきます。1891 年盛岡消防よ紺番屋として建てられた木造洋風建築で、1913 年改築時の面影をそのまま今に伝えています。望楼と赤色の屋根、淡いグレーの外壁と白い窓枠が特徴で、盛岡を代表する歴史的建造物として、市民に親しまれています。現在は交流体験施設として生まれ変わりました。

さらに先へ歩を進めると莫座九があります。文化 13 年(1816)創業の江戸末期から明治にかけての豪商の面影を今に伝える貴重な商家で母屋と裏側の土蔵 7 棟、川べりの土蔵は盛岡を代表する景観です。現在はござ九・森久商店としてホウキや竹かごなど販売しているおり、老舗の日用品雑貨屋さんとして親しまれています。

ござ九・森久商店の正面より、盛岡信用金庫の看板が見えます。その建物が旧盛岡貯蓄銀行です。旧盛岡銀行本店設計にも関わった盛岡出身の葛西萬司氏の設計で 1927 (昭和 2) 年に建てられました。1 階から 2 階まで伸びる 6 本の太い円柱、花崗岩に施した石彫りのパターン、内部のステンドグラスなどが重厚感を与え、昭和初期のモダンな表現と近代的デザインをくんでいます。

筋向いには岩手銀行赤レンガ館がご覧いただけます。国指定重要文化財の館内は「岩手銀行ゾーン (無料)」と「盛岡銀行ゾーン (有料: 一般 300 円)」に分かれ、盛岡銀行ゾーンでは建物の概要と特徴、設計者辰野金吾と葛西萬司について、岩手の金融史について学ぶことができます。岩手銀行赤レンガ館から徒歩で「プラザおでっ」を越えたとこに在る「もりおか啄木・賢治青春館」は盛岡出身の建築家横濱学が手掛けた旧第九十銀行を保存活用した国指定重要文化財です。第九十銀行は 1910 年、盛岡銀行はその 1 年後の 1911 年の完成ですが、同時期に完成した二つの建物は当時の二つの銀行の因縁もかかっているとか…。

もりおか啄木・賢治青春館を後に中津川沿いを歩き、下ノ橋から路地へ入ると旧石井県令邸があります。現在の県知事にあたる、第二代石井省一郎県令の私邸の洋館として、明治 18~19 年に建設されたと言われていたが、設計、施工共に不明で謎のある建物です。盛岡で最も古い本格的な煉瓦造の洋館で、全国的に見ても最初期のもと言われていた。初夏の時期に新緑の蔭が多く巻き付くので、見応えがあります。

帰りは下ノ橋を渡り、右手に盛岡城跡の石垣を眺めながらお進みいただき、菜園川徳前からでんでんむしにご乗車ください。

※おすすめカフェ・・・ 鼓太楼山荘・クラムボン・番屋カフェ・ふかくさ・れすとらん Café もえぎ・喫茶あこがれ

○宮沢賢治の足跡をたどる「3時間半コース ※目安」 ※こちらのコースは、順路を逆に進むとバスの経路も変わるため、下記の順路をご利用ください。

DD1 盛岡駅⑯ = = = 《バス5分 車でんむし左》 = = = DD17 菜園川徳前・ ・ ・ ★下ノ橋賢治清水・ ・ ・ ★啄木・賢治青春館
・ ・ ・ 盛岡バスセンター = = = 《バス9分 上田線》 = = = 一高前・ ・ ・ ★旧盛岡高等農林学校・ ・ ・
いーはとーぶアベニュー材木町・ ・ ・ ★光原社・ ・ ・ 宮沢賢治像・ ・ ・ 盛岡駅

でんでんむし左回りで停留所「菜園川徳前」で下車し、正面の石垣を目指します。突き当たりを右折し盛岡城跡の石垣を左に眺めながら進むと中津川に架かる下ノ橋があります。その手前に「賢治清水」という湧き水のある公園があります。賢治が弟の清と下宿した玉井家があった場所で、今では井戸だけが残されていますが、そこに賢治自筆の「ちゃんがちゃんがうまこ」の歌碑があります。盛岡の春のお祭り「チャグチャグ馬コ」の詩です。中津川沿いを歩き、盛岡城跡公園に入ると賢治の「岩手公園」の歌碑があります。

歩行者専用の毘沙門橋を渡り左手に進むと啄木・賢治青春館があります。花巻出身の宮沢賢治は、旧制中学 (盛岡一高) と高等学校 (岩手大学農学部) 時代を盛岡で過ごしていますが、啄木・賢治青春館では学生時代の賢治のエピソードを知ることができます。

盛岡バスセンターより松園方面行きのバスにご乗車いただき、10 分程の一高前バス停で下車します。下車してすぐご覧いただけるのが岩手大学農学部の敷地です。その敷地内に旧盛岡高等農林学校がございます。日本初の高等農林学校として明治 35 年に創立された盛岡高等農林学校の本館は大正元年の 12 月に建てられ、平成 6 年に門番所、旧正門と共に国の重要文化財に指定されました。資料館には盛岡高等農林学校に在籍した宮沢賢治の論文や文芸同好会 (アザリア会) の紹介もあります。資料館周辺は植物園になっており、開校当初に海外から輸入したマツ科のドイツウヒが 100 年たつて大木になっています。松ぼっくりは日本のそれとは異なりかなり大振りです。宮沢賢治の作品にもアカマツはよく登場しますが、ドイツウヒには特別な思いがあったようです。岩手大学の南門を出て、夕顔瀬橋方面に進むと橋の手前左に入る通りが材木町の通りです。通りには賢治の世界を感じられる 6 つのモニュメントがあります。そのまましばらく進むと右手に「光原社」があります。ここは宮沢賢治の同級生が始めた店。賢治の初の本「注文の多い料理店」の出版をした。店名は賢治が命名したそうです。

旭橋を渡るとニューウイング、盛岡駅方面へとつながります。

※おすすめカフェ・・・ NagasawaCOFFEE・光原社・喫茶あこがれ